

◆ 平成 29 年度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：原市沼を愛する会

20A-09

代表者：代表 飯坂陽治

URL : <http://haraitinuma.hatenablog.com>

1. 活動が必要とされた状況

上尾市・原市沼川のそばに蓮池を作り、古代蓮を育て始めて約 20 年になります。蓮池は観蓮者が蓮に触れたり、匂いを嗅いだり、写真を撮ったり身近で楽しめるよう遊歩道で区切られた 20 の池からなり、多い時は来客数が 1 万人を越え、現在に至っています。

池の周りの土止めはベニヤ板と間伐材で作った木杭で行っていますが、4～5 年も経つと腐って用をなさなくなるため、かなりの労力をかけて補修を行っています。

土止め用に耐久性のある資材を使って耐用年数を伸ばし、年々高齢化するボランティアの労力軽減を図ると共に遊歩道の安全性を保持してゆくべく土止め補修を進めています。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

上・中・下池・松池等の古い木杭やベニヤ板を除去し、耐久性資材として亜鉛メッキ鋼板（54cm×3m）と鉄パイプ（長さ 2m）を用い、土手の補修を実施しました。実施時期は蓮の開花時期（6 月～9 月）で蓮池の一般無料開放が終わった後、10 月末に主な補修作業を行いました（参加人数は延べ 15 人）。その後約 1 か月仕上げ作業を行いました。



古い木杭の引き抜き除去



鉄パイプ杭の打込み



ボランティア仲間

3. 活動の成果

蓮池の土手補修は、今回で約 80%が終わりました。2018 年度の開花期の一般開放では、観蓮に訪れた方々や課外学習で来る小学生たちにも安全に見て回ってもらえると思います。



補修後の松池



補修後の上・中・下池

4. 今後に残された課題

ボランティアの実働メンバーの平均年齢は約 75 歳であるが、我々の元気うちに蓮池全部の土手補修を完成させ、蓮を見に来られる方々により安心して楽しんで頂けるようにと考えています。